

日々 往来

河本 勝也



日本銀行で
は、今年1月
24日に政策金
利を0・5%
に引き上げま

した。皆さまはこのニュースを
目にされて、どのようにお感じ
になられたでしょうか。

お金を借りて、事業を営まれ
たり、自宅を購入されたりして
いる方は、金利負担が増えて困
るとお感じになられたのかも知
りません。一方で、金融機関に
お金を預けている方は、預金利
息が増えると喜ばれたのかも知
りません。お金には貸し手(預

金利について考える

け手)と借り手の両方が存在し、直接的に観察することができま
金利の変化で得をしたと感ずる せん。日本銀行でもさまざまな
方もいれば、損をしたと感ずる 手法を用いて推計しています
方もいます。 が、推計値にかなりのばらつき

日本銀行は物価の安定を目的 があります。ただし、実質金利
として、金融政策、すなわち金 (名目金利から予想物価上昇率
利の操作を行っています。これを引いたもの)が大幅なマイナ
れは物価の安定が経済の持続的 スであることを踏まえると、現
な成長の基礎となるとの考えに 時点の政策金利は中立金利を下
基づくものです。金融政策を通 回っているものと考えていま
じて、物価の安定を達成し、経 済成長、具体的には企業収益や
賃金の増加が実現すれば、(金 経済・物価に関する日本銀行の
利の変化による損得に限らず) 見通しが実現していくとすれ
より多くの方に得をしたと感ず ば、それに応じて引き続き政策
て頂けるものと思えます。 金利を引き上げていく考えで

では、物価の安定が達成され ます。当地の方々からのご意見等
る金利とは具体的にどのような も含め、利用可能な各種データ
水準なのでしょうか。経済や物 情報から、経済・物価に関す
価に対して緩和的でも引き締め る見通しが実現する確度を随時
的でもない金利水準を意味する アップデートしながら、適切に
概念として「中立金利」があり 政策を判断していきたいと考え
ますが、中立金利は金融市場で ています。
取引されているものではなく、 (日本銀行鳥取事務所長)